

八月二十一日から三十一日まで、小江戸川越観光ルネサンス事業の一環として「あるってアート2008」が行われました。これにちなみ、市立美術館で風車のアートを展示した根岸和弘さんによる、「カザグルマ作り」のワークショップが、八月二十三日に同館で行われました。



まずは一辺十五センチほどの正方形の紙に、色とりどりのフェルトペンを使って絵を描いたり、テープで飾ったりします。描いた紙に切り込みを入れると、だんだん風車の形が見えてきます。参加した皆さんは「なかなか計算どおりにはいかないですね」と苦笑いしながらも、一時間半ほどで完成。「立体になると見え方が違っておもしろい」と、大人も子どももくるくる回りながら、笑顔で風車を回していました。

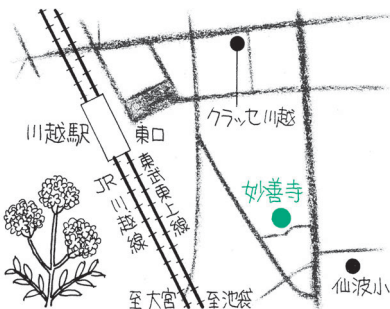


それぞれ自慢の作品を手に
とってもうれしそう

どんぐり

編集後記

あと8秒で金メダルという時に一本を取られ、逆転負け。勝負の世界の厳しさを感じながら、北京オリンピックの女子柔道をテレビで観戦していました。さぞかし、ショックが大きいだろうと心配したものの、少し間を置いて行われた表彰式では、銀メダルを手に満面の笑みで手を振る選手の姿を見て、すがすがしい気分になりました▶嫌なことがあっても、すぐに気持ちを切り替えることが大事。笑顔で、毎日を過ごせるようにしたいと思いました。(SHI)



表紙の地図

ヤブラン



八瀬大橋の南側を関越自動車道へ向かう途中に、木々に覆われた(仮称)池辺公園があります。同公園は現在整備中ですが、一部は開放されていて、ちょっとした森林浴を楽しむことができるようになっていきます。鈴虫の音が聞こえる遊歩道を歩いていると、紫色をした小さな花がたくさん付いている植物をあちらこちらに見つけました。この花はヤブラン。樹林の下などに生息するユリ科の多年草で、高さは二十センチ程度、花は五ミリほどの大きさです。秋を待ちかねたように花を咲かせるヤブランは、十月ぐらいいまで楽しむことができます。

